

自己資本の構成に関する開示事項(平成29年3月期第1四半期)

【三井住友信託銀行】

(連結・国際統一基準)

(単位:百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目	平成28年 6月末	経過措置 による 不算入額	平成28年 3月末	経過措置 による 不算入額
普通株式等Tier1資本に係る基礎項目					
1a+2-1c-26	普通株式に係る株主資本の額	1,936,810		1,920,677	
1a	うち、資本金及び資本剰余金の額	834,134		834,134	
2	うち、利益剰余金の額	1,102,675		1,106,603	
1c	うち、自己株式の額(△)	-		-	
26	うち、社外流出予定額(△)	-		20,060	
	うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
1b	普通株式に係る新株予約権の額	-		-	
3	その他の包括利益累計額及びその他公表準備金の額	224,320	149,547	246,640	164,426
5	普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額	-		-	
	経過措置により普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	6,780		7,184	
	うち、普通株式等Tier1資本に係る調整後非支配株主持分の額	6,780		7,184	
6	普通株式等Tier1資本に係る基礎項目の額 (イ)	2,167,912		2,174,502	
普通株式等Tier1資本に係る調整項目					
8+9	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	106,558	71,039	96,729	64,486
8	うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	69,005	46,003	63,182	42,121
9	うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外のものの額	37,553	25,035	33,546	22,364
10	繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	2	1	-	-
11	繰延ヘッジ損益の額	△ 8,566	△ 5,711	△ 5,002	△ 3,334
12	適格引当金不足額	11,731	7,820	11,647	7,765
13	証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	2,070	1,380	2,383	1,589
14	負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
15	退職給付に係る資産の額	39,319	26,213	37,970	25,313
16	自己保有普通株式(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	-	-
17	意図的に保有している他の金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
18	少数出資金融機関等の普通株式の額	-	-	-	-
19+20+21	特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
19	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
20	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
21	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
22	特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
23	うち、その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
24	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
25	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
27	その他Tier1資本不足額	-		-	
28	普通株式等Tier1資本に係る調整項目の額 (ロ)	151,115		143,729	
普通株式等Tier1資本					
29	普通株式等Tier1資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	2,016,796		2,030,772	

(単位:百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目	平成28年 6月末	経過措置 による 不算入額	平成28年 3月末	経過措置 による 不算入額
その他Tier1資本に係る基礎項目					
30	31a その他Tier1資本調達手段に係る株主資本の額	-		-	
	31b その他Tier1資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	32 その他Tier1資本調達手段に係る負債の額	120,000		120,000	
	特別目的会社等の発行するその他Tier1資本調達手段の額	-		-	
34-35	その他Tier1資本に係る調整後非支配株主持分等の額	11,029		10,281	
33+35	適格旧Tier1資本調達手段の額のうちその他Tier1資本に係る基礎項目の額に含まれる額	160,000		160,000	
33	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	160,000		160,000	
35	うち、銀行の連結子法人等(銀行の特別目的会社等を除く。)の発行する資本調達手段の額	-		-	
	経過措置によりその他Tier1資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	△ 3,723		274	
	うち、為替換算調整勘定の額	△ 3,723		274	
36	その他Tier1資本に係る基礎項目の額 (二)	287,306		290,555	
その他Tier1資本に係る調整項目					
37	自己保有その他Tier1資本調達手段の額	-	-	-	-
38	意図的に保有している他の金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	-	-
39	少数出資金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	-	-
40	その他金融機関等のその他Tier1資本調達手段の額	-	-	-	-
	経過措置によりその他Tier1資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	46,819		48,136	
	うち、のれん相当額	40,757		41,807	
	うち、企業結合等により計上される無形固定資産相当額	771		857	
	うち、証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	1,380		1,589	
	うち、適格引当金不足額の50%相当額	3,910		3,882	
42	Tier2資本不足額	-		-	
43	その他Tier1資本に係る調整項目の額 (ホ)	46,819		48,136	
その他Tier1資本					
44	その他Tier1資本の額((二)-(ホ)) (ハ)	240,487		242,419	
Tier1資本					
45	Tier1資本の額((ハ)+(ハ)) (ト)	2,257,283		2,273,191	
Tier2資本に係る基礎項目					
46	Tier2資本調達手段に係る株主資本の額	-		-	
	Tier2資本調達手段に係る新株予約権の額	-		-	
	Tier2資本調達手段に係る負債の額	90,000		90,000	
	特別目的会社等の発行するTier2資本調達手段の額	-		-	
48-49	Tier2資本に係る調整後非支配株主持分等の額	2,506		2,349	
47+49	適格旧Tier2資本調達手段の額のうちTier2資本に係る基礎項目の額に含まれる額	392,194		401,401	
47	うち、銀行及び銀行の特別目的会社等の発行する資本調達手段の額	392,194		401,401	
49	うち、銀行の連結子法人等(銀行の特別目的会社等を除く。)の発行する資本調達手段の額	-		-	
50	一般貸倒引当金Tier2算入額及び適格引当金Tier2算入額の合計額	3,419		3,276	
50a	うち、一般貸倒引当金Tier2算入額	3,419		3,276	
50b	うち、適格引当金Tier2算入額	-		-	
	経過措置によりTier2資本に係る基礎項目の額に算入されるものの額の合計額	116,228		123,122	
	うち、その他有価証券の連結貸借対照表計上額の合計額から帳簿価額の合計額を控除した額の45%相当額	115,804		122,685	
	うち、土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	423		437	
51	Tier2資本に係る基礎項目の額 (チ)	604,347		620,150	

(単位:百万円、%)

国際様式の 該当番号	項目	平成28年 6月末	経過措置 による 不算入額	平成28年 3月末	経過措置 による 不算入額
Tier2資本に係る調整項目					
52	自己保有Tier2資本調達手段の額	-	-	-	-
53	意図的に保有している他の金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-	-
54	少数出資金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-	-
55	その他金融機関等のTier2資本調達手段の額	-	-	-	-
	経過措置によりTier2資本に係る調整項目の額に算入されるものの額の合計額	9,156		4,197	
	うち、金融機関等の資本調達手段の額の合計額	5,246		314	
	うち、適格引当金不足額の50%相当額	3,910		3,882	
57	Tier2資本に係る調整項目の額 (リ)	9,156		4,197	
Tier2資本					
58	Tier2資本の額((チ)-(リ)) (ヌ)	595,191		615,953	
総自己資本					
59	総自己資本の額((ト)+(ヌ)) (ル)	2,852,474		2,889,144	
リスク・アセット					
	経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額の合計額	50,478		46,820	
	うち、無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	24,263		21,506	
	うち、繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	1		-	
	うち、退職給付に係る資産の額	26,213		25,313	
60	リスク・アセットの額の合計額 (ロ)	17,728,690		17,951,561	
連結自己資本比率					
61	連結普通株式等Tier1比率((ハ)/(ロ))	11.37%		11.31%	
62	連結Tier1比率 ((ト)/(ロ))	12.73%		12.66%	
63	連結総自己資本比率((ル)/(ロ))	16.08%		16.09%	
調整項目に係る参考事項					
72	少数出資金融機関等の対象資本調達手段に係る調整項目不算入額	191,152		186,657	
73	その他金融機関等に係る対象資本調達手段のうち普通株式に係る調整項目不算入額	61,456		55,013	
74	無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものに限り。)に係る調整項目不算入額	-		-	
75	繰延税金資産(一時差異に係るものに限り。)に係る調整項目不算入額	-		-	
Tier2資本に係る基礎項目の額に算入される引当金に関する事項					
76	一般貸倒引当金の額	3,419		3,276	
77	一般貸倒引当金に係るTier2資本算入上限額	6,529		6,262	
78	内部格付手法採用行において、適格引当金の合計額から事業法人等向けエクスポージャー及びリテール向けエクスポージャーの期待損失額の合計額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
79	適格引当金に係るTier2資本算入上限額	89,937		92,111	
資本調達手段に係る経過措置に関する事項					
82	適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額	233,400		233,400	
83	適格旧Tier1資本調達手段の額から適格旧Tier1資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	
84	適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額	514,745		514,745	
85	適格旧Tier2資本調達手段の額から適格旧Tier2資本調達手段に係る算入上限額を控除した額(当該額が零を下回る場合にあっては、零とする。)	-		-	